

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業			事業番号	011-174
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①地域医療体制の充実				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	地方独立行政法人堺市立病院機構中期計画（第3期）			
3	事業開始年度	平成 24 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地方独立行政法人法第85条等			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	地方独立行政法人堺市立病院機構	対象数	単位 1 法人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺市立総合医療センターが、救急医療、小児周産期医療等の政策医療や不採算医療を安定的に提供することにより、公的使命を継続して果たすことで、市民の健康の維持及び増進に寄与する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	救急医療、小児周産期医療、感染医療等の政策医療、不採算医療の実施に係る経費について、地方独立行政法人法に基づき堺市立病院機構（35診療科・487床）に負担金を支出する。また、評価基準等の検討を行うため地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会を開催する。医療機器を購入、更新する経費の一部を法人に貸し付ける。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	地方独立行政法人堺市立病院機構			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	延入院患者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	142,554	159,782	160,381	160,381
			実績値	124,309	137,723		
達成率	87%	86%					
	当該指標を選定した理由	市内唯一の三次救急医療機関として、重症患者（入院患者）を受け入れることが求められる役割であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立病院機構が作成した第3期中期計画（令和2年度～令和5年度）及び年度計画に基づく					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	救急搬送応需率	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	78	78	79	
			実績値	78	68		
達成率	100%	87%					
	当該指標を選定した理由	救急患者の受入れ要請に応じた率であり、成果指標の達成に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立病院機構が作成した第3期中期計画（令和2年度～令和5年度）及び年度計画に基づく					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業	事業番号	011-174
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	2,683,059	2,482,815	2,991,771	2,629,459	2,993,249	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債	197,700	290,900	696,000	369,300	660,000
	その他 (指定寄付金)	3,190	1,300	3,000	120	3,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	2,482,169	2,190,615	2,292,771	2,260,039	2,330,249
14 人件費 (b)	17,100	17,120	17,120	16,400	20,250	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2,700,159	2,499,935	3,008,891	2,645,859	3,013,499	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
	R5 予算	357	357	R5 予算	2,329,421	2,329,421	
普通旅費	R4 決算	2	2	堺市立総合医療センター指定寄付負担金	R4 決算	120	0
	R5 予算	15	15		R5 予算	3,000	0
消耗品費	R4 決算	31	31	医療機器整備資金貸付金	R4 決算	369,300	0
	R5 予算	40	40		R5 予算	660,000	0
通信運搬費	R4 決算	0	0		R4 決算		
	R5 予算	9	9		R5 予算		
筆耕翻訳料	R4 決算	110	110		R4 決算		
	R5 予算	407	407		R5 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 延べ患者数	人	352,774	371,457
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,499,935	2,645,859
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	7,087	7,123
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 運営負担金は、地方独立行政法人法第85条に定める設立団体が負担すべき費用であり、本市においては、政策医療等の実施に係る経費を総務省が定める公営企業繰出金基準に準じて算出している。
令和4年度は、法人の借入金償還金のため運営負担金の増額や本市からの医療機器整備のための貸付金の増額などにより、事業費は増加している。本市からの負担金を活用し、年間を通じた救急医療の提供や新型コロナウイルス感染症を含む感染症への対応、小児、周産期医療を必要とする患者の診療等に取り組んでおり、一定の費用対効果はあったと評価する。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和4年度においても、年間を通して救急医療の提供を行い、救急搬送応需率の目標値78.0%に対し実績値68%、三次救急搬送応需率は目標値91.0%に対し実績値90%、小児救急搬送応需率は目標値90.0%に対し実績値92.3%とコロナ禍により救急搬送件数が急増する中、受入件数は昨年を上回るなど、高い水準を維持している。
また、引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染者数が急増する中、一般診療機能を維持しながら最大限患者を受入れ、感染拡大時には救急搬送先の選定が困難な患者を一時的に受け入れるトリアージ病棟の機能を担う等、堺市における中核的役割を果たす病院として医療提供に大きく貢献した。さらに、小児救急医療に関しても積極的に入院等の受入れを行い、政策医療、不採算医療等の実施という事業目的を達したと評価できる。